

質問事項に対する回答書66

(件名)磐越自動車道 黒森山トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	1/28	01特記仕様書	27	27-2	道路掘削(1)種別 道路掘削 土砂A1、軟岩A1、軟岩A3の作業内容に「2)本線内盛土場②への運搬、仮置き」と記載がありますが、仮置き場での敷均しを行うとの認識でよろしいでしょうか。ご教示ください。	仮置き場での敷均しは不要とお考えください。
2	1/28	01特記仕様書	27	27-2	道路掘削(1)種別 道路掘削 軟岩A2の作業内容に「2)坑外仮置き場①への運搬、仮置き」と記載がありますが、仮置き場での敷均しを行うとの認識でよろしいでしょうか。ご教示ください。	仮置き場での敷均しは不要とお考えください。
3	1/28	06-2設計図(トンネル編)	44/95		終点側坑門に抱き擁壁が施工されますが、コンクリート打設する際にベース部と擁壁部とを2回に分割して打設する計画でしょうか。それとも1度で打設する計画でしょうか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
4	1/28	01特記仕様書 06-4設計図(土工編)	44 13～16/69	27-21	横断図(9)～(12)に防護柵 Gr-A-GFPCを設置しますが、設置の際に掘削が必要と思われます。掘削は140. 防護柵 Gr-A-GFPCに計上すればよろしいでしょうか。また、計上する場合の掘削数量をご教示ください。	防護柵Gr-A-GFPCの設置に伴う掘削は、捨土掘削に含んでおります。
5	1/28	01特記仕様書 06-4設計図(土工編)	59 61/69	27-34	特記仕様書27-34 林道迂回路復旧工の区分内容に「4)防護柵の設置および存置」と記載があります。06-4設計図(土工編)の数量内訳表の「防護柵 Gr-B-2BとGr-B4-2E」は迂回路復旧時に新たに設置され、置き式仮設防護柵撤去(H型置き式ガードレール)は、迂回路工にて設置されたものを全て撤去されると思われます。存置する防護柵と延長をご教示ください。	特記仕様書27-34(2)に示す区分内容については、以下のとおりとお考えください。 4) 置き仮設防護柵の存置及び撤去、防護柵の設置
6	1/28	06-5参考図	11～18/21		参考図に本線内および本線外盛土場の位置図が記載されていますが、各盛土場の場内運搬距離をご教示ください。	R7.1.27当社HP掲載の「質問に対する回答書61(番号1)」のとおりです。
7	1/28	01特記仕様書	27	27-2	道路掘削の作業内容に「埋戻し」および「裏込め」の記載がありますが、「道路掘削 土砂A1」の「埋戻し」および「道路掘削 軟岩A1」「道路掘削 軟岩A2」「道路掘削 軟岩A3」の「裏込め」の各数量をご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
8	1/28	01特記仕様書	29	27-4	構造物掘削の作業内容に「埋戻し」および「裏込め」の記載がありますが、「構造物掘削 普通部C1」「構造物掘削 普通部D」の「埋戻し」および「構造物掘削 普通部A1」「構造物掘削 普通部A2」の「裏込め」の各数量をご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
9	1/28	01特記仕様書	42	27-18	路盤排水工(1)材料及び施工に「共通仕様書12-15-2「材料及び施工」に下記を追記する。」と記載があります。共通仕様書12-15-2「材料及び施工」は、フィルター材についての記載であり、下記の内容である「掘削土を使用して、トンネル終点側坑口部の裏込め、締固め、………完成させるもの。」と整合が取れていないように思われます。特記仕様書に記載通りに積算することよろしいでしょうか。ご教示ください。	そのとおりです。
10	1/28	01特記仕様書	64	27-39	調査ボーリング工は、特記仕様書10-2夜間作業(p8)で夜間作業を行うことが出来ると記載されていますが、施工体制は下記のいずれを想定されているでしょうか。 ① 8時間3交替 ② 12時間2交替 ③ 10時間2交替 ④ 8時間2交替 ⑤ その他 ⑤の場合、想定されている施工体制をご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
11	1/28	01特記仕様書	29	27-4	構造物掘削 普通部A1において、トンネル終点側坑口部での掘削土を本線内盛土場②へ運搬、仮置きし、終点側坑口部の裏込め施工後の余剰土は、本線内盛土場②へ運搬するとの記載があります。本線内盛土場②における余剰土を再度移動する場合の移動先までの運搬距離をご教示ください。	特記仕様書27-4(1)のとおり、トンネル終点側坑口部の施工における余剰土は、本線内盛土場②へ運搬するものとお考えください。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
12	1/28	01特記仕様書	29	27-4	構造物掘削 普通部C2において、「2）本線内盛土場②内への運搬、仮置き」との記載までになっております。仮置き後にスノーシェッド部への運搬、埋戻し、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等の作業が必要と思われます。特記仕様書に記載の通り、本線内盛土場②内への運搬、仮置きの作業まででよろしいでしょうか。ご教示ください。	そのとおりです。
13	1/28	参考図	8/21	工事工程表	参考図の工事工程表は、調査ボーリング工の施工期間を含めた工程表となっており、調査ボーリング施工中のトンネル掘削で使用される機械の損料(供用日)は各支保パターンのトンネル掘削の単価項目にて計上されると回答がありました。調査ボーリング施工期間のトンネル掘削に関する機械の損料(供用日)の計上は、下記のいずれを想定されているでしょうか。ご教示ください。 ①工事工程表のトンネル掘削期間(42.8ヶ月)と工事工程表の掘削サイクルタイム(右上)の月当1進行長 (m/月)から算出される掘削期間の日数差分の損料 ②工事工程表作成時に算出された月進から逆算された掘削全体サイクルタイム ③掘削サイクルタイムに記載の月当1進行長 (m/月)のサイクルタイムを見直し、調査ボーリングを含めた掘削全体サイクルタイム	貴社の施工計画に基づきお考えください。
14	1/28	参考図	8/21	工事工程表	参考図の工事工程表は、調査ボーリング工の施工期間を含めた工程表となっており、調査ボーリング施工中のトンネル掘削で使用される機械の損料(供用日)は各支保パターンのトンネル掘削の単価項目にて計上されると回答がありました。調査ボーリング施工期間中に待機となるトンネル掘削に従事する労務についても計上されるのでしょうか。また、その際の計上方法について揭示願います。	調査ボーリング施工中におけるトンネル掘削に関する労務は含んでおりません。
15	1/28	特記仕様書	37	27-14(5)	各支保パターンに鏡吹付を計上していますが、各支保パターンにおける鏡吹付を施工する断面数を揭示願います。	設計図(トンネル編)9、16～22/97を参考に、貴社の施工計画に基づきお考えください。
16	1/28	特記仕様書	13	15-1	工事用道路1番 国道49号において、現地確認では法定速度が確認できません。国道49号の法定速度は60kmでよろしいでしょうか。ご教示ください。	そのとおりです。
17	1/28	特記仕様書	13 16	15-1 17-3	工事用道路4番 県道 西津川線は、幅員が4～6mと記載されていますが、現地を確認すると県道は40kmの制限速度が確認でき、県道から右折した道路は標識の無い狭い区間があります。当該区間の道路状況は2車線未満の道路でよろしいでしょうか。また、人家連担区域に該当しないと思われます。当該区間のVL(法定最高速度または規制速度)は、以下のいずれを想定されているでしょうか、ご教示ください。 ①25km/h ②15km/h ③20km/h(特記17-3より) ④その他 ④の場合は、想定されているVLをご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
18	1/28	特記仕様書	13 16	15-1 17-3	工事用道路5番 林道 大倉峠線は、幅員が4.5mと記載されていおり、現地を確認すると標識の無い2車線未満の道路であり、人家連担区域に該当しないと思われます。当該区間のVL(法定最高速度または規制速度)は、以下のいずれを想定されているでしょうか、ご教示ください。 ①25km/h ②15km/h ③20km/h(特記17-3より) ④その他 ④の場合は、想定されているVLをご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
19	1/28	特記仕様書	13 16	15-1 17-3	工事用道路6番 町道 九島武須沢線は、幅員が4～6mと記載されていおり、現地を確認すると標識の無い2車線未満の道路であり、人家連担区域に該当しないと思われます。当該区間のVL(法定最高速度または規制速度)は、以下のいずれを想定されているでしょうか、ご教示ください。 ①25km/h ②15km/h ③20km/h(特記17-3より) ④その他 ④の場合は、想定されているVLをご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
20	1/28	特記仕様書	13 16	15-1 17-3	工事用道路7番 町道 牧武線は、幅員が6mと記載されており、現地を確認すると標識は無く、人家連担区域に該当しないと思われます。当該区間のVL(法定最高速度または規制速度)は、以下のいずれを想定されているでしょうか、ご教示ください。 ①40km/h ②25km/h ③20km/h(特記17-3より) ④その他 ④の場合は、想定されているVLをご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
21	1/28	特記仕様書	13	15-1	工事用道路8番 町道 八木山福取線は、幅員が4～6mと記載されており、現地を確認すると標識の無い2車線未満の道路と思われます。当該区間のVL(法定最高速度または規制速度)は、以下のいずれを想定されているでしょうか、ご教示ください。 ①25km/h ②15km/h ③20km/h(特記17-3より) ④その他 ④の場合は、想定されているVLをご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
22	1/28	特記仕様書	13	15-1	工事用道路9番 町道 福取東線は、幅員が3mと記載されており、現地を確認すると標識の無い2車線未満の道路と思われます。当該区間のVL(法定最高速度または規制速度)は、以下のいずれを想定されているでしょうか、ご教示ください。 ①25km/h ②15km/h ③20km/h(特記17-3より) ④その他 ④の場合は、想定されているVLをご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
23	1/28	特記仕様書	13 16	15-1 17-3	工事用道路11番 町道 熊沢線は、幅員が3mと記載されており、現地を確認すると標識は無い2車線未満と思われます。また、人家連担区域に該当する区間と該当しない区間とが混在していると思われます。人家連担区間以外の区間のVL(法定最高速度または規制速度)は、以下のいずれを想定されているでしょうか、ご教示ください。 ①25km/h ②15km/h ③20km/h(特記17-3より) ④その他 ④の場合は、想定されているVLをご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
24	1/28	特記仕様書	13	15-1	工事用道路 16番 工事用進入路と17番 工事用道路①のそれぞれのVL(法定最高速度または規制速度)は、以下のいずれを想定されているでしょうか、ご教示ください。 ①30km/h ②15km/h ③その他 ③の場合は、想定されているVLをご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
25	1/28	特記仕様書 06-1設計図 (共通編)	13 3, 4/15	15-1	本線外盛土場①へは、国道49号線から工事用道路8番町道 八木山福取線からと9番町道 福取線(引き出し線区間延長約600m)の2方向から進入が可能と思われます。特記仕様書15-1の9番の延長が300mとなっていることから両方から進入可能で、東側(福島方)からは9番を西側(新潟方)からは8番と9番を使って進入するお考えでしょうか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
26	1/28	06-1設計図 (共通編)	3/15		各本線内・本線外盛土場および坑外仮置場①②の場内の運搬も計上するお考えでしょうか。また、その際のそれぞれの運搬距離をご教示ください。	そのとおりです。 なお、場内運搬距離については、R7.1.27当社HP掲載の「質問に対する回答書61(番号1)」ののとおりです。
27	1/28	土木設計数量算出要領	15-53	J.5	ずり処理工にて、ダンプトラックの往復走行時間算出の際に必要な、トンネル坑口から坑外仮置場①までの運搬距離をご教示ください。	設計図(共通編)2/15を参考にお考えください。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
28	1/28	土木設計数量算出要領	15-55	J.6	ずり処理工の代価コードTNL23RのX15にて、鏡吹付けコンクリートの施工の有無を選択することになっております。本工事では冬期休止期間中に、坑外仮置き場①から積込、坑外仮置き場②への運搬(2次運搬)、仮置きした後、再度坑外仮置き場②から積込し、各盛土場へ運搬(3次運搬)することになります。3次運搬の際、積込時には既に2次運搬にて鏡吹付けコンクリートの仕分けは行われているので、3次運搬時のX15では鏡吹付けコンクリートの施工の有無は『施工無し』を選択する考えでよろしいでしょうか。ご教示ください。	積算に関する質問についてはお答えできませんので、必要な費用を計上願います。
29	1/28	特記仕様書	40	27-17	27-17ずり処理工 (1)種別の区分内容に「坑外仮置場②への運搬、仮置き」と記載されていますが、【仮置き】には敷均しも含まれるお考えでしょうか。ご教示ください。	本回答書(番号2)のとおりです。
30	1/28	数量明細表	(13)	121	番号121 インバート埋戻し工14,225m3は、中央配管及び横断排水管の部分を含んだ数量でしょうか。ご教示ください。	インバート埋戻し工の数量14,225m3には、中央排水管及び横断排水管を含んでおりません。
31	1/28	土木設計数量算出要領	15-59	K.2	インバート埋戻し工 設計数量(中央配管及び横断排水管を控除した数量)の14,225m3に対する、施工数量(中央配管及び横断排水管を控除しない数量)をご教示ください。	インバート埋戻し工の設計数量は、本回答書(番号30)のとおりです。施工数量は、設計図(トンネル編)54～55/97を参考にお考えください。
32	1/28	数量明細表	(13)	121	インバート埋戻し工における埋戻し材は購入材と思われます。その際、本工事の工事価格に大きく影響しますので、購入材は何を想定されているでしょうか。ご教示ください。	R6.11.20当社HP掲載の「質問に対する回答書28(番号5)」のとおりです。
33	1/28	数量明細表	(13)	121	インバート埋戻し工における埋戻し材は購入材と思われます。その際、土量換算率を考慮した割増しは、購入材の売買単体積質量と締固め後の単体積質量の比率に損失量を加算して定められます。当該購入材での割増率をご教示ください。	土木工事積算基準(令和6年7月版)第7編4を参考に、貴社の施工計画に基づきお考えください。
34	1/28	閲覧資料 REPORTOX 割掛対象表 参考内訳書	8-128 2	8.2.1.2 2) (3) 【共通仮設費】	閲覧資料の表8.2.1.27ダンブトラック延運転台数にて8台必要で延運転台数が207.1(台・月)と記載されています。割掛対象表参考内訳書の工事用機械運搬費(トンネル)の数量内訳(参考)には、『トンネル用ダンブトラックー25t積ー20tー7台』と記載されています。ダンブトラック台数が8台から7台に変更されていますので、本工事での延運転月数(運転労務)および延運転月数(ダンブトラック)も訂正され、工事価格に反映されることでよろしいでしょうか。ご教示ください。	閲覧資料に関する質問にはお答えできません。なお、トンネル用ダンブトラックの台数は割掛対象表参考内訳書のとおりです。
35	1/28	数量明細表	(8)	74	回答14-12にて標準断面面でインバート隅角部4,795.8m2との回答がありました。インバート隅角部とは具体的にどの部分を示しているのでしょうか。ご教示ください。	インバート隅角部は設計図(トンネル編)10～14/97に示すR4=1500の範囲とお考えください。
36	1/28	数量明細表	(8)	74	回答14-12にて標準断面面でインバート隅角部4,795.8m2との回答がありました。インバート隅角部の型枠材は①セントルに組み込まれた鋼製②セントルとは別の木製③その他のいずれを想定されているでしょうか。③の場合は想定されている部材について、ご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
37	1/28	数量明細表	(8)	75	回答14-13にて非常駐車帯断面面でインバート隅角部416.8m2との回答がありました。インバート隅角部とは具体的にどの部分を示しているのでしょうか。ご教示ください。	本回答書(番号35)のとおりです。
38	1/28	数量明細表	(8)	75	回答14-13にて非常駐車帯断面面でインバート隅角部416.8m2との回答がありました。インバート隅角部の型枠材は①セントルに組み込まれた鋼製②セントルとは別の木製③その他のいずれを想定されているでしょうか。③の場合は想定されている部材について、ご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
39	1/28	割掛対象表 参考内訳書	共通仮設費		工事用機械運搬費(トンネル)での、貨物自動車による基地からの運搬距離をご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
40	1/28	割掛対象表 参考内訳書	共通仮設費		電力基本料金費には、「電力基本料金費－高圧A・総電力使用量 約400万kwh」と記載されています。 工事用電力費に記載の「主要使用設備 1式 電力使用期間－55.4ヶ月 総負荷設備合計容量－約36,300kw」から算出すると4,610,000kwh程度になると思われますが、記載の通り【400万kwh】でよろしいでしょうか。ご教示ください。	割掛対象表参考内訳書のとおりです。
41	1/28	06-2設計図 (トンネル編)	92/97		吹付のり砕工図 a部詳細図よりモルタル吹付5cm(1層目)にて金網を敷設し、砕内のモルタル吹付5cm(2層目)では金網は不要となっています。モルタル吹付5cm(1層目)の代価SFS10Rでは「のり面清掃、菱形金網・アンカーピン等の設置、吹付等の材料費、労務費、機械損料等を含む」ため、吹付のり砕工 内訳表の金網23.9m2および、のり面清掃工 11.7m2(砕内)は、22番吹付のり砕工で計上しない考えでよろしいでしょうか。ご教示ください。	そのとおりです。 R7.2.3当社HP掲載の訂正公告2をご確認ください。
42	1/28	06-4設計図 (土工編)	25/69		ジオテキスタイル補強土壁工における、補強土壁内盛土の盛土材は、①現場発生品②購入材のいずれを想定されているでしょうか。ご教示ください。	補強土壁の盛土材は現地発生材とお考えください。
43	1/28	06-4設計図 (土工編)	25/69		ジオテキスタイル補強土壁工の材料表の補強材(ジオテキスタイル)の備考欄に「ロス3%」と記載されています。材料表の補強材それぞれの数量は、ロス3%を含んだ数量でしょうか。ご教示ください。	そのとおりです。
44	1/28	割掛対象表 参考内訳書	仮設備工事 費		移動支保工費において、支保工部材の運搬費は御社「土木工事積算基準 第2編1-3-1 運搬費」により、率計上の区分でよろしいでしょうか。ご教示ください。	積算に関する質問についてはお答えできませんので、必要な費用を計上願います。
45	1/28	割掛対象表 参考内訳書	仮設備工事 費		移動支保工費の数量内訳書(参考)に「2基-BX-1～21」と記載されています。工事工程表(概略工程表)では、スノーシェッド工を施工中に地盤改良工も施工する事になっているので、工期短縮を目的として、BX-1～21を2基で施工する計画と想定されます。1基目の施工ブロック範囲と施工期間、2基目の施工ブロック範囲と施工期間をそれぞれご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
46	1/28	割掛対象表 参考内訳書	仮設備工事 費		質問事項に対する回答書47の1番にて「BX-1～21区間の設置撤去移動費についても、当該にて計上」のご回答がありました。移動支保工の設置撤去移動費の歩掛は、御社の代価表を準用されていますでしょうか。それとも見積を採用されていますでしょうか。ご教示ください。	積算に関する質問についてはお答えできませんので、必要な費用を計上願います。
47	1/28	特記仕様書	53	27-30	地盤改良工 高圧噴射攪拌工法(三重管式)は、御社代価表を採用されていますでしょうか。それとも「ジェットグラウト工法 積算資料 ジェットグラウト協会」を適用されますでしょうか。ご教示ください。	積算に関する質問についてはお答えできませんので、必要な費用を計上願います。
48	1/28	特記仕様書	53	27-30	地盤改良工 高圧噴射攪拌工法(三重管式)における、配合をご教示ください。	特記仕様書27-30(2)を参考にお考えください。
49	1/28	特記仕様書	53	27-30	地盤改良工 高圧噴射攪拌工法(三重管式)において、注入材に混和剤が必要な場合は「品名と添加量」をご教示ください。	特記仕様書27-30(2)を参考にお考えください。
50	1/28	特記仕様書	53	27-30	地盤改良工 高圧噴射攪拌工法(三重管式)における、注入材の「ロス率」をご教示ください。	特記仕様書27-30(2)を参考にお考えください。
51	1/28	特記仕様書	34	27-11	コンクリートA1-3(A)、A1-3(B)はスノーシェッド部で打設するコンクリートですが、当該数量にはボックスカルバート部と土壁部およびパラペット部の数量も含まれていると思われます。土壁部およびパラペット部は、ボックスカルバート部と別に打設されるのでしょうか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
52	1/28	特記仕様書	34	27-11	コンクリートC2-1およびT3-4はトンネルにて打設されるコンクリートであり、冬期休止期間中に打設されますが、コンクリートの冬期割増は加算されますでしょうか。加算される場合、対象打設数量をご教示ください。	本工事においてコンクリートの冬期割増は含んでおりません。